

2006年度（平成18年度）第1回常務理事会記録

日 時：2006年（平成18年）2月1日（水）14:00～17:00

場 所：東京大学医学部教育研究棟 第2セミナー室

出席者：廣川信隆（理事長）、河田光博、澤田 元、柴田洋三郎、高田邦昭（以上、常務理事）、依藤 宏（常任幹事）、天野恵子、金子 （以上、口腔保健協会）

I. 会議記録の確認

2005年（平成17年）度第5回常務理事会記録、同摘録（案）

II. 報告事項

1. 庶務報告（高田庶務担当理事）

（1）会員異動報告（正会員 2,153名 平成18年1月23日現在）

平成17年11月分（入会者 正会員9名、学生14名、退会者 正会員10名、学生3名）

平成17年12月分（退会者 正会員86名、学生1名）

逝去会員 時岡孝夫氏（明海大学歯学部名誉教授／永年会員、平成18年1月11日逝去 享年69才）

（2）年会費納入状況（長期未納者の除名について）

4年未納65名、3年未納129名等であり、4年未納者は例年の如く4月の総会・全国学術集会において掲示した後、除名の措置をとることが決定された。

（3）医学教育モデル・コア・カリキュラムの調査

全国医学部長病院長会議より標記のアンケート調査が届いた。これに対しては理事の意見をとりまとめたものに、昨年度片岡勝子委員長が中心となり教育委員会でまとめた報告書ならびに解剖誌に発表された調査研究報告書をつけて提出することになった。

（4）解剖実習に関する教育委員会、解剖体委員会への依頼

曾爾教育委員長および児玉解剖体委員長に対し、両委員会で1. 医学教育における人体解剖実習の必要性、2. 人体解剖実習をおこなううえで健康被害を防ぐための方策の2点について検討するよう要請をおこなったことが報告された。

（5）未固定新鮮遺体の解剖について

標記の件について、解剖学会倫理委員会において審議するよう要請をおこなうことが決定された。

（6）学会宛文書等

①通知・依頼

日本医学会より「医学分科会用語委員会開催のお知らせ」（この件については用語

委員会に通知することになった)他2件。その他、8箇所より11件の通知・依頼が届いている。

②書籍、定期通信他

日本医師会他、9箇所より12件の書籍、定期通信等が届いている。

2. 編集報告 (柴田編集担当理事)

(1) 解剖学雑誌および ASI 刊行報告

両誌ともに順調に刊行が進んでいることが報告された。

(2) 科研費補助金状況報告書

平成17年度の標記補助金による事業の進行状況について、日本学術振興会に報告書を提出したことが報告された。

3. 企画・渉外報告 (河田企画・渉外担当理事)

(1) 第111回日本解剖学会総会・全国学術集会準備状況報告

標記につき、順調に準備が進んでいる旨、報告がなされた。

(2) 平成17年度日本解剖学会奨励賞審査結果

選考委員会の選考結果(応募5名中、2名に決定)および奨励賞の今後のあり方についての提言の報告がおこなわれた。

(3) 平成17年度日本解剖学会組織技術士功労賞

2名の候補者からの申請があり、理事会に審査を付託することが報告された。

(4) 生物科学連合について

標記連合の現状について報告がおこなわれた。また年会費2万円について予算化するよう要請がなされた。

(5) 第7回解剖組織技術研究・研修会の開催について

標記会合が平成18年3月28日(火)北里大学において開催されることが報告された。

4. 会計報告 (澤田会計担当理事)

(1) 平成17年度支部学術集会収支報告

標記につき報告がおこなわれた。

(2) IFAA 年会費支払について

2005年度年会費請求の書類が平野寛前理事長より廻送されてきた。支払に関してはIFAAの本部に連絡、協議の上でおこなうことが決定された。

(3) 平成17年度決算書概要(案)報告

標記の書類(案)について報告がおこなわれた。

(4) 平成18年度予算書(案)報告

標記(案)につき報告がおこなわれた。

III. 審議事項

1. 平成17年度永年会員推薦

候補者一覧が提示され、一部調査することを条件に承認された。

2. 申請による学術評議員審査

標記候補者一覧が提示され、承認の上、理事会に諮られることになった。なお、理事会による審議は3月末の総会に間に合わせるため資料を各理事に送付し、郵送による投票の形で実施することが了承された。

3. 平成18年度総会・学術評議員会案内状の確認

標記案内状の案が提示され、承認された。

4. 学術集会開催校の決定

2009年度（平成21年度）については岡山大学佐々木順造教授より開催希望が出され承認された。2008年度（平成20年度）については開催希望大学への打診を継続することが決定された。

5. 会員名簿刊行

標記に関して、2007年度刊行について、個人情報保護との関係で発刊するかどうかも含めて、理事会での検討事項とすることが決定された。

6. 科学研究費補助金審査委員情報提供について

日本学術会議より、日本学術振興会が標記情報提供の受付をする旨の連絡が1月25日付であった。今回は昨年度提供の追加分であること、解剖学会からは昨年度「解剖学一般」に44名「神経解剖学」に23名の情報提供をおこなっていること、締め切りが2月28日で内規通りに推薦委員会を立ち上げ、また学術評議員による投票を実施している時間的余裕がないことなどから、今年度は追加推薦をおこなわないことが決定された。

7. 日本医学会会長・副会長推薦

標記の推薦依頼が届き、候補者の選定をおこなった。

8. 第5回 APICA 開催国

2008年の第5回 APICA 開催国に関し、イランとインドが開催希望を出しているが、それぞれに問題を抱えている。日本解剖学会としては参加者も多い韓国と密接に連絡を取り、その意向を最大限尊重しながら決定していくという方針が承認された。

9. 平成18年度の口腔保健協会への事務委託費見直しについて

標記に関して確認し、理事会に提案することになった。

10. 次回常務理事会・理事会・支部長会の日程について

標記会合の日時について審議がおこなわれた。